



平成二十五年は、日向聖人の七百遠忌です。

題字・圖案・書道・篆刻・墨下

第6号

発行日 平成18年3月1日

発行所 千葉県茂原市茂原 1201
日蓮宗本山東身延 茂原寺
発行責任者 総務執事 増田 審泉
TEL0475-22-3153

- 彼岸池周辺の庭を整備しほぼ完成しました。見に来てください。
- 増田総務のお弟子さん(ご子息)が、毫百日のご修行から無事に帰山しました。
- 川崎上人が3月いっぱいで退職します。
- 三橋上人、金森上人が、パソコンを始めました。

掲示板



4月2日11時～
花まつり
稚児行列

お稚児さん募集中！

主催 そりげんじ
協賛 茂原城光協会
申込先 22-3153

四月一日、お祝いに参加してくれる
**花祭りお稚児さん
大募集**

四月二日、お祝いに参加してくれる
お誕生日の

一八日～二十一日まで



お彼岸について

『迷去万事非、悟來一切是』といふ聯が本久寺の本堂に懸かっています。

迷つてしまふと總てが悪い方に向い、何事もうまくいかなくなります。執着を離れて達観できれば全てがうまい方に行き、物事がうまく回つていきます。

日蓮大聖人は「一生成仮妙」

衆生の心けがるれば土もけがれ、心清ければ土も清しとて、淨土と云い穢土と云うも土に二つの隔てなし。只我らが心の善惡によるところ見えたり。衆生とい

うも仏というも亦かくの如し。迷うときは衆生と名づけ、悟るときをば仏と名づけたり。例えば闇鏡も磨きぬれば玉と見ゆるが如し。只今も一念無明の迷心は磨かざる鏡なり。これを磨かば必ず法性真如の明鏡となるべし。深く信心を発して日夜朝暮に又懈らず磨くべし。何様にしか磨くべき。只南無妙法蓮華經と唱えたまつるを是をみがくとは云うなり」と説かれ、「迷うときは衆生と名づけ、悟るときはば仏と名づけたり」とおっしゃつていらっしゃいます。

お彼岸は悟りを得るための仏道修行の期間です。迷いの岸即ち此岸から、悟りの岸即ち彼岸に至るために六波羅蜜の行を行なう智慧を以つて中道を実践し、菩薩道を行するものであります。

この六つの行は全てを行なうと云つても難しいですから、是はという行を実践なさつたらよいと思います。六波羅蜜の行は相関していますから、一つの行を突き詰めていけば全ての行に通じると思います。

日蓮大聖人は「日夜怠らず南無妙法蓮華經と唱えることが修行だ」とおっしゃつていらっしゃいます。

日蓮宗徒はお題目を唱えることによって、質素にして素直に、柔軟にして優しく人々のために尽くせたら素晴らしいことを思います。

お彼岸の行事は日本だけのものであります。春秋二回の昼夜が等しい日を中道実践の中日と定め、その前後三日ずつに、仏教の菩薩道を行じるための六つの德目である六波羅蜜を修行することとしたものです。

聖徳太子の頃から始まつたさら朝廷で行われ、本来は仏道修



御頭講会で

日蓮大聖人は「日夜怠らず南無妙法蓮華經と唱えることが修行だ」とおっしゃつていらっしゃいます。

日蓮宗徒はお題目を唱えることによって、質素にして素直に、柔軟にして優しく人々のために尽くせたら素晴らしいことを思います。

退職のご挨拶

皆様、こんにちは。川崎英俊と申します。私は、平成十四年より四年間、この藤原寺様でお世話をになりました。



このお寺は、新年の祝賀会に始まり、一年を通じて毎月々、大きな行事があります。そんな中、総代、世話人さんを始め、常駐講師や柔和会など信行会の方々が行事に参加し、お寺を良くしようと盛り上げて下さっています。

また、貴首様は、海外にも視野を広げている方で、毎年、山務員も貴首様のお伴させていただきしております。私も昨年の夏、戦後六十周年、サイパンへ慰靈にお伴させていただきました。

事務所を司る増田總務様は、人に対して非常にやさしい方で、周りを穏やかな雰囲気にしてくださり、諸先輩にも恵まれ、晴いの方々、外掃除の方々にも良くなつたときました。毎朝、おつとめで顔をあわせる方やお檀家の

方々など、大変お世話になり有難うございました。

私は、藤原寺様で多くの行事をこなすことにより、物事を成し遂げる大変さは勿論で十分が、大きな喜び、人と人が協力しあう大切さを学びました。お寺と檀信徒の心が一つになつて「このお寺を良くしていくんだ」「強いてはこの茂原を良くしていきたい」そんな熱い想いを感じ取ることができました。



私の実家には、九十歳になる祖父と祖母が両親と共に暮らしております。母は手の痛みを

ころえながらも父母共に、

必死に面倒を見ておりま

す。私も家族の一員として

祖父母の面倒を見たいと

思ひ、藤原寺様に努めなが

らでは難しいと考えた為、

今回退職させていただくことにいたしました。

私は市原市のお寺で、祖父母と家族とで仲良く生活しながら、人の心を晴らせるような人間にならべく精進していく所存です。市

原に来たときには是非ともお立ち寄りいただければ幸いです。

ありがとうございました。

渡岸池山来記

この池は自然の溜池で、確かに丸太と板で護岸をした紀連で、つた。

昭に呼応した世話人会長神田泰次氏

と世話人の有志が走り、松尾山白木

余を打つて湖を界い、池を浚いて底

を固め、松杭の両脇と池底に柱筋を組み、コンクリートで固め、湖の結構を整えた。更にブランクを括らず、モルタルを塗り、計化槽を造つた。

十月の十六日から約一ヶ月の間に作られたものである。

その後、庭園裏山地林化による大池の右端等と庭の造設、植樹堂の移転

付近の整備を行つた。

工事に関わったのは、佐野利夫、越

田泰次、正林四郎、秋葉勝廣、猪川

力、関本清、木島利美、三枝功明、

木島直吉、小山要助の諸氏である。

平成十八年三月吉日

本山 常在山 藤原寺

第九十二世 持田自勇 記



行 事

向尊殿大祭(十月三日)

長南坂本奥の院 向尊殿において、当山門祖日向聖人第六九二遠忌法要が営まわれました。奥の院は日向聖人の御廟所として、法華谷の人々によりお守りされています。

お会式(十一月十二日)

年々盛大になつて來た当山のお会式、本年は二十に及ぶ寺院・講中の住職・檀信徒他、多くの一般の方々のお参りがありました。万灯練行列では、藻原寺・妙弘寺・実相寺・立正佼成会の各万灯講に加え、妙源寺・信行寺・高照寺・等、の提灯奉納がありました。

万灯行列はちよつと、と敷居を高く感じている御寺院の皆様、提灯行列に参加しませんか? 高梁提灯一つで参加できます。

子育観音大祭(十二月三日)

当山の行事として、第四回目を迎えた当日、総代・世話人・常講・柔和会他、五十余名の参加により営まわれました。

防災訓練(十一月七日)

冬晴れの午後千葉県西部宗務所との協賛による防災訓練が行わ

れました。当日は地元消防署より高橋様他を招き講義

の後、消火器を使った実地訓練が行われました。参加者総勢三十名から熱心に質問がされていました。

お焚き上げ・除夜の鐘

平成十七年も、あと二時間で過ぎ去ろうとする時を迎え、一年間お世話になつたお札等にお札を籠めてご祈祷し、お焚き上げをしました。除夜の鐘では、旧年の疲れや煩惱を払い、清らかに新年を迎えようと善男善女が列をつくりました。

新春祝賀会

平成十八年一月一日午前〇時、時報と共に始まつた祝賀会、本年より總要品を誦誦する事になり速いテンポでお経をとなえましたが、何と、檀信徒が多数、お経について来るではありませんか。よく見れば、朝勧会の人達。たいしたものです。その後のご祈祷にも力が入りました。

御頭講会(二月九日)

新年のご挨拶をされる行事、身延山と当山だけに行われています。

節分会(二月三日)

「ふくわくうち」西小学校鼓笛



隊に統いての節分追難

法要の後百五十kの豆を拾いに約千人の人々が訪れた。本年の福茶献上は真鍋輝夫氏・福豆献上は鬼島義昭氏・誓詞言上は杉本佳則氏でした。

弁天祭(二月九日)

弁天さまは、水の女神、豊穣の女神で、後代には言葉の女神となり、学問・芸術の守護神とされ、特に詩人によつて尊崇されています。また財福神の性格を示す事から商売繁盛の神様として尊崇されます。茂原の弁天さまは、縁あつて日本三弁天の一

御塚観音大祭(二月十九日)

日蓮聖人が実際にお乗りに成つたが、何と、檀信徒が多数、お経について来るではありませんか。よく見れば、朝勧会の人達。たいしたものです。その後のご祈祷にも力が入りました。

御頭講会(二月九日)

新年のご挨拶をされる行事、身延山と当山だけに行われています。

御年頭講会(二月九日)

新年のご挨拶をする行事、身延山と当山だけに行われています。

奉 納

新米一俵

熊切和夫様

团扇太鼓十丁

佐藤良子様

華経殿参道石灯籠

高梨富子様

豆基一基

麻生千恵様

三枝巖・三枝功明様

青柳征三様

春季彼岸会

開基堂大祭

花祭り

華経坊大祭

春季二十一日(火)

四月一日(火)

身延山布教隊來山

四月二十九日(土)

いのりの日

四月二十九日(土)

お題目初唱会

五月十一日(木)

宗祖御更衣会式

六月一日(木)

本ウロク灸

七月二十三日(日)

孟蘭盆施餓鬼会

八月十五日(火)

新入檀者紹介

茂原市上林 加瀬 清様
茂原市八幡原 長谷川 博様

昨年十月二十五日からの入檀者を掲載